

野球

平成25年度秋季近畿地区高等学校野球滋賀県大会

2回戦

彦根東 8—1 安曇川

9月21日、湖東スタジアムで平成25年度秋季近畿地区高等学校野球滋賀県大会2回戦が行われた。夏季大会で優勝した本校は今大会のシード権を獲得し、2回戦からの登場となった。本校は安曇川高校に8—1（7回コールド）で快勝し、3回戦へコマを進めた。

犠牲フライでホームに滑り込む赤堀君



甲子園に向けて再出発

目の前の1戦に集中して

2回表に先制点を奪われるも、4回裏、松井建太君（2—2）のヒット、四球、百田康紀君（1—3）のセーフティバントで満塁。川副智哉君（2—8）の犠牲フライで1点、手原健太郎君（1—5）のヒットで1点、高田竜汰君（2—4）のヒットで1点、赤堀啓喜君（2—8）のスリーベースヒットで2点、鎌田涼一郎君（2—2）の内野安打で1点、この回は打者一巡の猛打となった。

6回裏、川副君のヒット、手原君の送りバントでランナー2塁。高田君が外野の頭を越えるスリーベースヒットで1点、赤堀君のスクイズで1点を追加した。そのまま7回表もきっちり抑え、本校は8対1（7回コールド）で安曇川高校に快勝した。

主将の鎌田君は「失敗を恐れて、自分たちの流れを作ることができなかった。3年の先輩方ができたことは最低限やって、先輩方ができなかったことをやっていきたい」と反省点を述べた。

高田君は「3年生の先輩方はとても偉大な先輩。近畿大会出場を目指して頑張っていた」と話した。

川副君は今日のピッチングを「序盤の悪い展開を終盤に



▲1失点完投の川副君

修正しようと思ったができなかった」と振り返り「とりあえず近畿に行けるように目の前の1戦に集中していき、今大会での優勝も狙っていききたい」と意気込んだ。

監督の村中隆之先生は試合を振り返って「練習試合から見ていて、もたついてしまうのは予想していたが今日はあまりにもひどかった。点を取るべきところで取れなかった」と語気を強めて話された。今後の課題は「とにかく人間性。学校生活においてもやるべきことにしっかりとやるべきだ。もう一度そのあたりをしつかりやり直す」と強調され「時間はかかるだろうが、文武両道というスタイルは譲らない」と意気込まれた。

9/28 VS 皇子山球場
草津東

	一	二	三	四	五	六	七	計
安曇川	0	1	0	0	0	0	0	1
彦根東	0	0	0	6	0	2	×	8